

## 「生き物詩シリーズ」原画展について

この度、「生き物詩シリーズ 原画展」を開催することになりました。

2011年から2016年まで、上越市に本社がある福祉関連会社サクラメディカル株式会社が発行していた「ざいたくしんぶん」に当時編集をしていた吉越泰雄さんの提案で、連載させていただいたものです。合計23回の連載後、新たに12篇を書き加え35篇の作品としました。

身近な生き物・・・それもあまり目立たなく、人気がない生き物が多く登場します。それは、どんな生き物も皆、同じ価値があるとの思いからのことでした。ムカデや蜘蛛、ゴキブリ、コウモリなど・・・。しかし、それらの生き物をよく観察しますと、それぞれ特徴があり、個々の魅力にあふれていました。そこで、それらの生き物を絵(山本)と詩(国見)で表現することにしました。それ故、本来なら「生き物シリーズ」のタイトルとなりますが、あえて「生き物詩シリーズ」と致しました。

近年、生物の多様性という言葉が多く聞かれますが、人間も含めどんな生き物でも共存して生きていける環境こそ大切だと感じました。可愛い生き物の原画と詩で、その魅力にふれていただければと思います。

最後に、この原画展開催にご尽力いただきました春日館長様に感謝申し上げます。

2019年7月

絵・山本みゆき      詩・国見修二